

## 心のきよい者は幸いです

マタイの福音書 5章8節

### はじめに

私がウェルカム・サンデーでメッセージをする時には、イエス様が語られた「幸せ」についてお話することになっています。

イエス様は、弟子たちや群衆に向かって、「**心のきよい者は幸いです。その人たちは神を見るからです**」と言われました。心のきよさが人を幸せにする、そして心のきよい人は、神様を見るようになると言われます。

### 1. 人間の心

イエス様は、心のきよい人は幸せであると言われました。私たちの心はどうでしょうか？私たちの心は果たして「きよい」と言えるでしょうか？

聖書は、私たちの心についてこのように言っています。「**人から出て来るもの、それが人を汚すのです。内側から、すなわち人の心の中から、悪い考えが出て来ます。淫らな行い、盗み、殺人、姦淫、貪欲、悪行、欺き、好色、ねたみ、ののしり、高慢、愚かさで、これらの悪は、みな内側から出て来て、人を汚すのです**」(マルコ7:20-23)。人間のあらゆる悪は、私たちの心の中から出て来ると聖書は言います。聖書は、私たちの心は罪に満ちていると言うのです。

なぜ私たち人間の心は、罪の性質を持つようになったのでしょうか？それは、人類最初の人であるアダムとエバが神様の命令に背いて、禁断の木の実を食べたからです。その時からすべての人間は、生まれながらにして罪の性質を持つようになったと聖書は言うのです。

私たちの現実はどうでしょうか？今、私たちの心の中を覗いてみる時、罪の性質が全くないという人が果たしているのでしょうか？妬み、憎しみ、赦せない心、淫らな思い、自己中心、そういう思いが全くないという人が果たしているのでしょうか？聖書は、すべての人が罪の性質を持っている、そしてそれは、人間が神様の命令に背いたことに原因があると言うのです。

### 2. 心と向き合う

イエス様は、心のきよい人は幸せであると言われました。私たちは、「心のきよさ」こそ求めなければなりません。私たちの心がきよくなれば、私たちの行いもきよくなります。また私たちの心がきよくなれば、私たちの言葉もきよくなります。私たちの内側を変えれば、私たちの外側も変わってくるのです。

しかし昔から人間は、内側を変えるよりも外側を変えようとします。イエス様は、当時の宗教的な指導者たちにこう言いました。「**わざわざ、偽善の律法学者、パリサイ人。おまえたちは杯や皿の外側はきよめるが、内側は強欲と放縦で満ちている。目の見えないパリサイ人。まず、杯の内側をきよめよ。そうすれば外側もきよくなる**」(マタイ 23:25-26)。

私たち人間には、心は見えません。見えるのは、その人の外見、行い、財産などです。ですから私たちは、人の目には見えない心の問題に取り組むよりも、人の目に見える外見、行い、財産を得ることなどに一生懸命に取り組みます。より美しくなること、より可愛くなること、より格好よくなること、人に親切にすること、社会に貢献すること、仕事で成功すること、家を買うこと、車を買うことなど。私たちは目に見える外側のものに一生懸命に取り組みます。

しかし心はどうでしょうか？目に見える外側のものが変わっても、心の中は何も変わっていないということがあるのではないのでしょうか？外側が変われば、内側も変わるというものではありません。イエス様によれば、内側が変われば外側も変わっていくのです。

私たち人間は、昔も現代も、目に見える外側のものばかりに心を奪われて、目に見えない自分の心と向き合わずに生きようとしてしまいます。目に見える外側の豊かさで、目に見えない自分の心の貧しさを隠そうとします。

しかし聖書は、このように言います。「**人はうわべを見るが、主は心を見る**」(1サムエル記 16:7)。神様は、私たちの外側ではなく、私たちの心を見ておられるのです。私たちは人間の目ばかり意識して生きている時は、目に見える外側のものを整えようと必死になります。しかし神様の目を意識して生きていくようになると、私たちは自分の心と向き合わざるを得なくなるのです。神様は、私たちの心のあり方を求めておられるからです。

### **3. 心を清める**

イエス様は、心のきよい人は幸せであると言われました。ここでの「きよい」という言葉は、ギリシヤ語の「カサロス」という言葉ですが、「清潔な」「汚れてない」「純粋な」という意味の言葉です。イエス様は、目に見える外側のもの、自分の容姿やファッション、家や車、行いなどをきれいなものにする人ではなく、心をきれいにする人こそが幸せだと言われます。

しかし私たちの心は、罪の性質に満ちています。自分の心に誠実に向き合えば向き合うほど、自分の心の中には、妬み、憎しみ、赦せない心、淫らな思い、自己中心などがあることが分かります。

聖書には、このようにあります。「**人の心は何よりもねじ曲がっている。それは癒しがたい。だが、それを知り尽くすことができるだろうか**」(エレミヤ 17:9)。私たちは、自分の力で心を変えることはできません。自分の力で心を「きよく」することができないのです。

ではどうすれば、私たちは心をきよくすることができるのでしょうか？聖書には、こうあります。「**御子イエスの血がすべての罪から私たちをきよめてくださいます**」(1ヨハネ 1:7)。ま

たこうもあります。「もし**私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、私たちをすべての不義からきよめてくださいます**」(1ヨハネ 1:9)。

イエス様は神の子です。イエス様は二千年前に、神様から遣わされてこの地上に来られました。そして私たちの罪を償うために、十字架で血を流され、死なれました。そして三日目によみがえられて、御自身が神の子であることを公に示されました。

イエス様こそ、私たちの心をきよめてくださる唯一の方です。神の子が十字架で流してくださった血こそが、私たちの一切の罪を洗い流してくださるのです。私たちは、心がきよめられるために、自分の罪を告白しなければなりません。そしてイエス様を神の子、救い主と信じなければなりません。そして、自分の罪がすべて洗い流されてきよめられたことのしるしとして、洗礼を受けなければなりません。

私たちは、自分の力で心をきよめることはできません。しかしイエス様の力を信じることによって、心をきよめていただくことができるのです。

#### **4. 神を見る**

イエス様は、心のきよい人は、神様を見るようになると言われました。

神様は霊ですから、私たちは神様を見ることはできません。私たちは神様を見たことがありません。しかしそれでも、私たちは神様を信じているのです。神様が存在すること、今も歴史を導き、私たちの人生を導いておられること、神様が私たちを愛して下さっていること、などを信じているのです。

しかしイエス様は、私たちは神様を見るようになるというのです。私たちはどのように神様を見るようになるのでしょうか？

ここで使われている「見る」という言葉は、ギリシヤ語の「オラオー」という言葉ですが、この言葉は「経験する」とも訳される言葉です。またこの言葉は、英語では「see」と訳されます。英語の「see」は「分かる」「悟る」という意味もあります。

イエス様がここで、私たちが神様を見るようになると言われたことの意味は、二つの意味があると思います。一つは、私たちが神様を経験するようになる、神様が分かるようになるという意味です。これは、私たちが地上で生きている時に経験するものです。私たちは、神の子であるイエス様を信じる時に、神様との関係を回復します。そして神様が私たちと共にいてくださることによって、私たちは神様を経験し、神様がどのような方か分かるようになるのです。神様が祈りを聞いてくださったり、神様が聖書を通して慰めたり、励ましたり、進むべき道を示してくださることによって、神様を経験していくのです。そのような意味で、私たちは神様を見るようになるのです。

私たちが神様を見るようになると言われたことのもう一つの意味は、実際にこの目で神様を見るようになるという意味です。これは、私たちが天国に行く時、またイエス様が再びこの地上に来られる時に実現します。聖書にはこうあります。「**今、私たちは鏡にぼんやり映るものを見ているが、そのときには顔と顔を合わせて見ることとなります。今、私は一部分しか**

**知りませんが、そのときには、私が完全に知られているのと同じように、私も完全に知ることになりません」(1コリント 13:12)。** 私たちは、この地上では神様をぼんやりとしか経験することはできません。しかし、私たちが天国に行く時、またイエス様が再び来られる時には、神様をはっきりと見る事ができるのです。

### **おわりに**

私たちの心は、生まれながらに罪の性質を持っています。それゆえ神様との関係も失われています。私たちは果たして、自分の心と向き合ってきたでしょうか？それとも目に見える外側のものに一生懸命になってきたでしょうか？

私たちは外側のものよりも、内側のもの、つまり心にこそ目を向けなければなりません。そして外側のものを取り繕う歩みではなく、内側から外側を変える歩みをしなければなりません。神様は、私たちの外側ではなく、私たちの心を見ておられます。

しかし私たちには、自分の心を変える力はありません。自分の心をきよくする力はありません。神の子であるイエス様だけが私たちの心をきよくし、私たちの心を変えてくださる方です。イエス様が私たちの罪を償うために十字架で流された血だけが、私たちの心の中にある一切の罪を洗い流し、きよめてくださいます。

自分の罪を告白し、イエス様を信じ、洗礼を受けた人は、心をきよめられて、神様との関係を回復します。そして神様がいつも共にいてくださり、神様を経験して歩むようになります。そして天国まで導かれ、イエス様が再び来られる時、神様をはっきりと見るようになるのです。

皆さんの中で、自分の心をイエス様にきよめていただきたいと思う方はいますか？また神様を経験して歩みたい、また神様を見たいと思う方はいますか？祈りましょう。

天におられる私たちの父なる神様。

私たちの心は、生まれつき罪の性質を持っています。妬み、憎しみ、赦せない心、淫らな思い、自己中心などで満ちています。しかし私たちは、自分の心と向き合わずに、目に見える外側ばかりを豊かにし、心の貧しさを隠してきました。

あなたの御前に、自分の罪を告白します。どうかイエス様の十字架の血によって、私たちの一切の罪を洗い流し、きよめてください。イエス様、あなたを信じます。あなたこそが私たちの心を変える唯一の方です。

イエス様への信仰によって、日々の生活の中で神様を経験させてください。あなたが今も私たちの人生を導いてくださっている方であることを経験させてください。

そしてやがて神様を見るその日まで、私たちの信仰を守り、益々私たちの心をきよめてください。

私たちの救い主、イエス・キリストの御名によってお祈りします。